

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	失語症Ⅰ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	前期	教室名	702教室
担 当 教 員	高 柿 有 里				
実務経験と その関連資格	総合病院にて急性期リハに従事した経験有。 日本言語聴覚士協会 会員 兵庫県言語聴覚士協会 会員 神経心理学会 会員 医学教育学会 会員 医療の質・安全学会 会員				
《授業科目における学習内容》					
・失語症の基礎知識と言語症状を学ぶ。 ・失語症者への対応方法について、演習を通じて考える。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験100%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
使用教材:失語症学第3版(医学書院)、配布資料 参考図書:脳卒中後のコミュニケーション障害改訂第2版(協同医書出版社)					
《授業外における学習方法》					
各回、復習を行い分からない点は早めに質問をするなどして解決するようにしてください。 授業内で失語症当事者会の案内をします。興味のある学生さんはボランティアなどに参加してください。					
《履修に当たっての留意点》					
失語症の基礎知識を学ぶとともに、皆さん自身のコミュニケーションについても考える機会としてください。					
授業の 方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	失語症の定義・原因疾患を説明できる。	レジュメ・教科書	(復習課題)友人や家族に失語症 の定義と原因疾患を説明してくだ さい。	
	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション、失語症の定義・失語症の原因疾患			
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	失語症に関連する脳の言語領域について説明できる。	レジュメ・教科書	(復習課題)レジュメを復習してく ださい。	
	各コマに おける 授業予定	失語症研究の歴史 大脳解剖学と言語領域 関連症状との鑑別 失語 症に伴いやすい障害			
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	コミュニケーションをとる上で必要なことを考える。	レジュメ	(予習・復習課題)自身のコミュ ニケーション態度を見直してみてくだ さい。	
	各コマに おける 授業予定	コミュニケーション技法、言語情報処理モデルとは			
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	発話面の症状について説明でき、例を提示できる。	レジュメ・教科書	(復習課題)言語症状の例を考え てみてください。	
	各コマに おける 授業予定	失語症の言語症状1(発話面)			
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	発話面の症状について説明でき、例を提示できる。	レジュメ・教科書	(復習課題)言語情報処理モデル を書いてみましょう。	
	各コマに おける 授業予定	失語症の言語症状1(発話面)/発話の言語情報処理モデル			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	言語情報処理モデルで発話面の症状が説明できる。	レジュメ・教科書	(復習課題) 言語情報処理モデルと言語症状を対応させて書いてみましょう。
	各コマにおける授業予定	言語情報処理モデル1 (発話面)		
第7回	授業を通じての到達目標	理解面の症状について説明でき、例を提示できる。	レジュメ・教科書	(復習課題) 言語症状の例を考えてみてください。
	各コマにおける授業予定	失語症の言語症状2 (理解・復唱)		
第8回	授業を通じての到達目標	理解面の症状について説明でき、例を提示できる。	レジュメ	(復習課題) 言語情報処理モデルを書いてみましょう。
	各コマにおける授業予定	失語症の言語症状2 (理解・復唱)/理解の言語情報処理モデル		
第9回	授業を通じての到達目標	言語情報処理モデルで理解・復唱の症状が説明できる。	レジュメ	(復習課題) 言語情報処理モデルと言語症状を対応させて書いてみましょう。
	各コマにおける授業予定	言語情報処理モデル2 (理解・復唱)		
第10回	授業を通じての到達目標	文字言語の症状について説明でき、例を提示できる。	レジュメ	(復習課題) 言語症状の例を考えてみてください。
	各コマにおける授業予定	失語症の言語症状3 (文字言語の症状 読字)		
第11回	授業を通じての到達目標	文字言語の症状について説明でき、例を提示できる。	レジュメ	(復習課題) 言語情報処理モデルを書いてみましょう。
	各コマにおける授業予定	失語症の言語症状3 (文字言語の症状 読字)/読字の言語情報処理モデル		
第12回	授業を通じての到達目標	言語情報処理モデルで文字言語の症状が説明できる。	レジュメ	(復習課題) 言語情報処理モデルと言語症状を対応させて書いてみましょう。
	各コマにおける授業予定	言語情報処理モデル3 (文字言語の症状 読字)		
第13回	授業を通じての到達目標	文字言語の症状について説明でき、例を提示できる。	レジュメ	(復習課題) 言語症状の例を考えてみてください。
	各コマにおける授業予定	失語症の言語症状4 (文字言語の症状 書字)		
第14回	授業を通じての到達目標	言語情報処理モデルで文字言語の症状が説明できる。	レジュメ	(復習課題) 私たちが言葉を話す、聞く、書く、読むまでに、脳内でどのような処理が行われているのかを考えながら復習してください。
	各コマにおける授業予定	言語情報処理モデル4 (文字言語の症状 書字)		
第15回	授業を通じての到達目標	学んできた言語症状から相手に合わせたコミュニケーションについて考えることができる。	教科書・レジュメ	(予習課題) これまでに学んだ失語症の特徴を考えながらコミュニケーションについて考えてみましょう。
	各コマにおける授業予定	失語症者への対応法		